

教材分析シート

(2) 年 (花) 組 授業者 (高井 ゆき)

教材名

ぼくのうちの夕はん (文溪堂)

内容項目

家族愛・家庭生活の充実 C (13)

ねらい

お父さんとお米とぎの練習をし、やる気になったまさおの気持ちを考えることを通して、父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立とうとする道徳的心情を育てる。

① 主人公

(道徳的に最も大きく変容した人物)

まさお

② 助言者

(主人公の変化に重要なヒントを与える人・モノ)

お父さん

③ 場面分け (主人公を主語にして分ける)

Before (道徳的な変化前)	まさおは、お父さんやお母さんに言われた新しいお手伝いをするのは無理だと考えている。
助言者の登場	まさおは、お父さんにお米とぎの練習を一緒にしてもらおう。
転 (道徳的変化) After (変化後)	まさおが、「明日からは任せて。」と自信を持ってお米とぎのお手伝いをしようとしている。

④ 一文読み (要約)

お米とぎのお手伝いを拒んでいたまさおが、お父さんに教えてもらったり、褒めてもらったり、お母さんに喜んでもらったりしたことで、これから自信を持ってしようという気持ちになるお話。

⑤ 発問 (3種類の質問)

Before の発問 (道徳的問題を明らかにする)	→内容理解の発問「主人公の道徳的問題は何か？」 「そんなの無理だ。」と言ったのはどうしてですか。
「転」又は After の発問 (主人公の気づきに迫る)	→中心発問「主人公は何に気づいたのか？」 「明日から、お米をとぐのはぼくに任せてね。」と元気よく言ったのは、どうしてでしょう。
補助発問 (あれば)	お米とぎを、毎日しているのはだれでしょう。
価値追求の発問 (道徳的価値をおさえる) (テーマにかかわる発問)	→おさえの発問(「〇〇って何だろう?」、手紙、ふり返り等) 夕飯がいつもよりおいしく感じられたのはなぜでしょう。 お手伝いをすると、どんな良いことがありますか。